



研究部会報告

● 評価の OR ●

・ 第 10 回

日 時：2月26日(土) 13:30~17:00

出席者：21名

場 所：政策研究大学院大学（新宿あけぼの橋）

テーマと講師：

(1)「ソフトウェア開発工程評価の非線形複雑系数理モデル」

蜂須和則（日本大学）

概 要：プロジェクト完了期間を決定する非線形方程式の動作点の安定性議論

(2)「公立博物館の運営効率分析」

辻 勝郎（政策研究大学院大学）

概 要：行政評価，総合評価，管理運営，収蔵研究，展示，教育普及の観点からの効率性評価（CCROモデル）

(3)「DEAを用いた企業の再生と倒産に関する分析」

渡辺隆幸（政策研究大学院大学）

概 要：ノーマルモデルとワーストモデルを併用した効率性評価

(4)「情報セキュリティマネジメントにおける AHP を用いた最適対策案決定」

上陰健幸，荒井良太（静岡大学）

概 要：大規模 AHP の適用と AHP を用いたリスクアセスメント

(5)「マルチメディア感性情報の一対比較精神物理実験」

草野友進（日本大学）

概 要：面積，時間，距離，重量，などの感覚に対する一対比較実験

(6)「SIL による楽天イーグルスの最適な打順」

中村義人（静岡大学）

概 要：楽天選手のデータに関して斉時性を検定した上での Scoring Index of the Line-up というマルコ

フモデルを適用

(7)「道路関係四公団民営化推進委員会「意見書」に基づく道路公団分割民営化」 白川琢朗（静岡大学）

概 要：債務再配分・貸付料設定モデル分析による債務返済実現可能性の検証と債務配分比率の算定

(8)「ANP 感度分析の開発」

中川智克（静岡大学）

概 要：評価ベクトル変動に対する総合評価の陽表現確立と総合評価変化率による感度分析の有効性

(9)「Data Envelopment Analysis に対する主双対モデルとその分析法」

坂本卓則（静岡大学）

概 要：最適解の一意性の仮定を必要としない主双対モデルの実装とその有効性

(10)「DEA における Russell Measure に対する 2 次錐計画法の適用」

関谷和之，小林洋介（静岡大学）

概 要：Russell Measure と SBM を効率値の大小関係を解析し，Russell Measure の求解に二次錐計画法を適用

● 待ち行列 ●

・ 第 184 回

日 時：4月16日(土) 14:00~15:30

出席者：20名

場 所：東京工業大学西 8 号館（W）809 号室

テーマと講師：（*は講演者）

(1)講演者都合によりキャンセル

(2)“An infinite phase-size BMAP/M/1 queue and its application to Secure Communication”

*豊泉 洋（早稲田大学）

概 要：中途参入/脱退を仮定した暗号化グループ通信ではメンバーの脱退から鍵の更新が完了するまでの期間でセキュリティの低下が懸念される。この通信における鍵の更新を，可算無限の phase 空間を持つ特殊な BMAP/M/1 queue としてモデル化し，解析的手法で平均客数の陽表現を求める。また，リトルの公式により平均脆弱期間の上限・下限を得ることができる。